

【概要】

患者に投与された薬物（医薬品）は、作用部位に到達して初めて治療効果を発揮することができる。投与された薬物が目的の作用部位へ到達するまでには「吸収」、「分布」、「代謝」、「排泄」という4つの体内移行過程（合わせてADMEという）が密接に連動し、同時に薬物相互作用や副作用の発現にも深く関わっている。

生物薬剤学では、薬物療法の基盤となるADMEの各過程に関する基礎的知識を学ぶことを通して、患者に投与された薬物が生体内でたどる運命を総合的に理解する。

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による。